県建設業協会指宿支部総会

新支部長に福永氏

県建設業協会指宿支部（小牟礼純哉支部長）と指宿建設業協同組合（同理事長）は8日、指宿市の指宿建設業会館で18年度通常総会を開き、経営合理化と技術向上の推進、建設労働災害防止の徹底―などを柱とした事業計画案を全会一致で可決。また、任期満了に伴う役員改選では、新支部長に福永昭一氏（㈱福尚）が就任した。

開会に先立ち、各種表彰が行われた後、小牟礼支部長が「労務費の引き下げや公共事業費のコスト縮減など、地方建設業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にある。急速に変化する時代に対応すべく、互いに切磋琢磨しながら創意工夫による経営の合理化ならびに技術の研さんに取り組んでいくことで、社会的地位の向上を図り地域に認め求められる建設業とするため、会員一丸となって取り組んでいこう」と挨拶。

福永 昭一新支部長

各種表彰も行われた総会＝指宿市の指宿建設業会館で

続いて、出口喜倉美氏（㈱出口組）を議長に選出し議事に入り、17年度事業報告・決算報告、18年度事業計画案・収支予算案を審議し、執行部の原案通り可決承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、福永氏が新支部長に就任した。

福永氏は「不慣れではあるが、地域住民や会員の意見を行政へとしっかりと伝えられるよう頑張っていきたいので、これからもご指導のほどよろしくお願いしたい」と抱負を語った。

18年度の主な事業計画は、①経営合理化と技術の向上推進②適正単価の確保、積算および歩掛の適正化③労働災害・交通事故防止対策の徹底・強化④労働力確保と労務管理・環境の適正化および改善―など。

新役員、表彰者は次の通り。

【新役員】支部長＝福永昭一▽副支部長＝福吉一秀（㈱丸新建設）▽専務理事＝小牟礼純哉（㈱西園組）▽理事＝福ケ迫昭善（㈱福ケ迫建設）藏園隆（㈱藏園組）東真一（東建設㈱）浜村徹志（㈱浜村組）新村三男（新村建設㈱）今村悦紫（㈱丸善産業）樋園秀吉（指宿湊建設㈱）

【表彰者】代表者の部＝迫田順一（迫田建設㈱）鶴田英久（㈲鶴田組）▽従業員の部＝立石治雄（㈱浜村組）新村義信（新村建設㈱）上村和治（㈱和田機動建設）吉村弘満（㈱福ケ迫建設）樋園吉人（指宿湊建設㈱）

北薩造園業協会が清掃活動

初夏の花に植え替え

会員らが管理する緑地帯で作業する参加者＝さつま町の現地で

北薩造園業協会（田中高徳会長）は、同協会が「管理している修景緑地帯、さつま町北原バス停前と薩摩川内市港町、出水市武本の3カ所で除草や花の植え替え、周囲の清掃などを行った。

同緑地帯は、ドライバーにさわやかな気持ちで運転してもらおうと、会員らが6年前無償でつくった。それ以来年2回、四季の花を植えたり、毎月当番制で管理を続けている。

北原バス停では、班長の本田文男社長（㈲川内林業）が作業内容について説明。参加者は持参の肥料をまいてから、村岡剛社長（㈲村岡産業）が準備したインパチェンスやキンギョソウ、マツバボタンなど初夏の花に植え替えたり、瀬口俊二社長（瀬口造園㈲）らはソテツのせん定等をした。

参加会員は次の通り。

㈲阿久根緑化センター　石走造園㈱　㈲えいしん緑化建設　㈲川内緑造園　瀬口造園㈲　㈲川内林業　㈲拓美庭苑　中越緑産㈱　㈲村岡産業

植村企業グループが奉仕作業

少しでもきれいに

植村企業グループは、薩摩川内市の隈之城川公園と市道向田高城線約1kmで空き缶拾い等の清掃奉仕作業をした。

「毎年、年4回程度、朝礼前に実施していたのですが、2年ほど工事でできなかったので、またやろうと社内サイトで呼び掛けた」（大島克之㈱植村組）は「駐車場公園として整備されたこともあって以前よりはごみが少なくなっています。ささやかな活動ですが、市民の利用する施設ですので少しでもきれいになればとやっています」と話した。

社内サイトの呼び掛けで作業に取り組む参加者＝薩摩川内市の隈之城川公園

ウエムラ調査役）、東別府錠二社長（西日本興産㈱）や四元勇一社長（㈱キョーワ・クオリティ）、女性社員2人を含む14人が参加した。

宿利原洋一営業課長（㈱植村組）は「駐車場公園として整備されたこともあって以前よりはごみが少なくなっています。ささやかな活動ですが、市民の利用する施設ですので少しでもきれいになればとやっています」と話した。

岩下工務店がボランティア

地域社会へ貢献

㈲岩下工務店（若林昭雄社長）はこのほど、西之表市の市道近政上之原線の道路沿いで清掃ボランティア作業を実施。参加した社員らは、空き缶拾い等の作業に心地よい汗を流した。

今回のボランティア作業は、みどりの日にちなんで日頃からお世話になっている地域住民への感謝の気持ちを込めて行われたもの。

同日は、午前8時に現地に集合し、作業手順などの説明を受けた後、作業を開始。参加者らは上之原～川民地区までの約3km区間で歩道や路傍樹のごみや空き缶などを手際よく拾い集めた。

作業後、写真に納まる社員＝西之表市の市道沿いで

若林社長は、「種子島高校の生徒らの通学路として利用されることから、気持ちよく通学してもらいたいとの気持ちを込めて実施しました。今後も、ボランティア活動等を通じて地域社会へ貢献していきたい」と語った。

薩摩川内市倫理法人会

社員の心得で研修会

薩摩川内市倫理法人会（宇都要一会長）は、同市国際交流センターで会員企業を対象に社員研修会を開き、57人が参加した。

春園健一郎副会長（ホテル太陽パレス）は「倫理研究会は異業種交流の場でもあり、本日は他の企業の方と交流を深め、実りある一日になってください」と挨拶。福山義幸研修委員長（㈲共立鉄工所）の進行で異業種ごとにチームを編成。塩川哲郎氏（県倫理法人会長）の指導でグループ研修や朝礼実習「はい」の訓練等をした。

また岩崎保・元㈱ガイアテック社長と㈳倫理研究所の木村重男参与による講話もあった。岩崎氏は「作業を指示されたら、『はい』と返事をしてすぐに着手し、しかも全力で取り掛かり、そして全員の協力でやりとげることが大事だ」など社員の心得について話した。司会は重吉英雄㈱（㈱田代建設）。

異業種チームを編成して行われた研修会＝薩摩川内市国際交流センター

2006吹上浜砂の祭典

砂の芸術作品に歓声

つま市のかせだドームをメーン会場に開かれ、〝砂の芸術作品を一目見よう〟と期間中の会場は、市内外からの大勢の観光客でにぎわった。

同祭典は、「住民参加型を柱とした楽しみ・遊ぶ・学ぶイベントづくり」を基本コンセプトに昭和62年から開催。20回目となる今回は、国内外からトップアーティストの作品に旧加世田市をはじめ、坊津町、笠沙町、大浦町、金峰町、さつま市がスタートして初の開催とあって、各地区漁協や農協などの協力により地場の名産品コーナーなども新たに増設されるなど、多くの来場者でにぎわった。

多くの来場者でにぎわった会場＝南さつま市の現地で

初日は、南さつま市長の川野信男大会委員長をはじめ、関係者によるテープカットが行われると、花火を合図に会場を心待ちにしていた観客が一斉に入場した。場内には国内外のトップアーティストが手掛けた作品をはじめ大小72基砂像群が場内を埋め尽くし、訪れた観光客らは記念写真やビデオに録画する光景が見られたほか、トップアーティストによるサンドアートの実技も行われ、プロの腕前に多くの歓声が上がった。